

平成25年(ワ)第1356号、平成26年(ワ)第145号  
九州朝高生就学支援金差別国家賠償請求事件  
原告 甲ほか67名  
被告 国

## 意見陳述書

2014(平成26)年6月5日

福岡地方裁判所小倉支部 第3民事部 御中

原告番号6

私は、九州朝鮮中高級学校に通っています。今は、高校2年生です。  
高校無償化適用から朝鮮学校だけが除外されると決まった時、私はまだ中学生だったので正直、何が何だか良くわからなかったことを今でも覚えています。

高校に上がり、自分達の力で高校無償化適用を実現させるんだという気持ちが強くなり、私は原告になることを決めました。

これは自分の意志で決めたことであり、決して誰かに言われたからではありません。

日本で唯一、朝鮮学校に通っている生徒だけが就学支援金をもらえないことが許せなかったのです。

同じ日本に住み、学校に通っている日本人、外国人は無償化の対象になり、同じ日本に住み、学校に通っている私たち朝高生だけがその対象にならないことが我慢できなかったのです。

だから私は、この問題の当事者の一人として原告になったのです。

高校無償化制度は2010年4月に開始し、既に4年が経つというに、朝鮮学校だけはその対象になっていません。

高校無償化制度は、全ての高校生が安心して学校に通い勉学に打ち込める社会を築くことを目的にしています。そこには外国人学校やインターナショナルスクールなども含まれています。

それなのに、なぜ朝鮮学校だけが含まれていないのでしょうか。これは平等に反していませんか。

それだけではなく子供が学ぶ権利を尊重し守る、児童の権利条約、人種差別撤廃条約及び国際人権規約などの国際法規等にも反すると思います。

私達は朝鮮と日本との間に政治的問題があることを知っています。それはテレビや新聞、雑誌等色々なマスコミをみると誰もがわかることだと思います。

でも、それを朝高生に向けていいのでしょうか。私は政治的問題と関係ないと思いますしそれを結びつけること自体おかしいことだと思います。

私達は国籍だけで朝鮮学校に通っているわけではありません。もちろん在日コリアンだからという理由もありますが、朝鮮学校でしか学べないこと、感じとれない魅力が多いのです。

朝鮮学校は〈誰かのために〉というのが本当に強いです。

〈学校のために、クラスのために、友達のために〉などです。例えば、勉強でわからない友達には全員でとりくみ助け合いますし、周りの喜びを自分の喜びに感じ、周りの悲しさは自分の悲しさとして受け止めます。

だからクラスが一心団結し、とても強い絆が生まれます。

在日の私達が朝鮮の言葉や歴史、風習、文化、私達の存在理由を日本で学べる唯一の場所がここ朝鮮学校なのです。

昔に比べ、朝鮮学校に通う生徒は減ったので小学一年の時からずっと1クラスしか経験したことがありません。ずっと同じ友達と毎日を過ごしています。

特に、幼稚園から高3までずっと一緒にの友達は友達というより家族みたいな大切な存在です。

私は目には見えない何かで結ばれていると思います。みんなが朝鮮人としての誇りを持ち自分が朝鮮人としてどう生きていくか常日頃思っています。

私は今ここに堂々と立っていただけることはまさに朝鮮学校での民族教育があるからです。

今は47都道府県の中で10校しか朝鮮高校がありません。私達が学校を自分達で守っていかない限り、誰も守ってはくれません。

前の世代の先輩方の粘り強い運動の結果、定期券の学割制度の適用を受けられるようになり、高体連に出られるようになりました。だから、私は、私達の代で高校無償化適用を実現したいです。これは自分のためだけではなく、私たちが卒業した後に残る後輩のため、これからのためでもあります。

私は、朝鮮学校だけ無償化除外することは全く理解できないのと同時に憤りと哀しみを感じています。

私達は出来る限りのことをします。いくら政府が署名等を見做し新しい法を出したにしても私達は決して負けませんし、その思いは揺らぎません。必ず無償化になることを信じています。

日本学校、外国人学校と私たちの学校は何が違うのでしょうか。

私達は在日朝鮮人ですが、日本で生まれ日本で生活しています。

高校生活では友達と青春し、恋もして一緒に泣いて笑って、ときには喧嘩もします。その中で友達との仲を深めて信頼を築きあっているのです。

部活では同じ汗水を流しながら頑張り、これこそ青春だと思います。

勉強面でも劣っていません。日本学校の生徒と同等にやっているということは多くの先輩達が国公立の大学に合格したり、英検、漢検等の資格試験にも合格したりしていることから十分にわかるはずです。

平等に学ぶ権利を守らないで差別するのはどう考えても間違っています。それと朝鮮学校に通っているのに日本での高校卒業の資格をもらえないことも差別の一例です。

私達は高校に通っているのに高等学校卒業認定試験を受けています。まだまだ在日コリアンへの差別がなくなることは遠いことだと思います。だから一つ一つ獲得していくしかないのです。

裁判官に理解してほしいことがあります。

朝鮮学校だけ高校無償化を除外することは平等に反していませんか。

私達は決してお金のためにしているのではなく未来のことを思いこの裁判を始めたのです。

私は学ぶ権利はみな平等だと思います。

以上